

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム)
研究開発課題評価(令和5年度実施)
事後評価結果報告書

研究開発課題名	In vitro における 3 次元ヒト胚体軸形成モデルの確立
代表機関名	京都大学
研究開発代表者名	アレヴ ジャンタシュ

1. 総合評価

大変優れている

【評価コメント】

ヒト iPS 細胞を用いた体節形成の in vitro 3次元モデル「アクシオロイド」の確立に成功し、病態を一部再現する疾患モデルを構築した。この成果は、国際学術誌に発表されて世界的に高い評価を受け、特許出願も実施済みである。本研究で得られた知見は、発生研究の新たなプラットフォームになるものであり、作製に成功したアクシオロイドモデルを用いてヒト体軸形成のメカニズムや脊椎疾患の解明のほか薬剤等の毒性評価、さらには予防・治療法の確立に役立つことが期待される。医療分野への具体的な応用戦略を踏まえて、今後も引き続き取り組んでいただきたい。